

日本語教師スキルアップ講座



🕒 こんな方におすすめです！ 🕒



「養成講座修了、検定試験合格など資格を取り、これから現場で活躍したい」

「新たな視点を持ち、授業に深みを持たせたい」

■講座のコンセプト：「信頼される教師」になるためのサポート

「外国語としての日本語」に対する探求心と分析力を持ち、学習者が「知りたい」と思うポイントを的確に、効果的に指導できる教師が、学習者からの信頼を得て、キャリアを長く続けられると考えます。

この講座では、学習者視点で文法や語彙の用法を分析し、それをどう学習者に伝えるかという内容を中心に、漢字指導、聴解・読解の指導のポイントなど、一般的に日本語教師養成講座では時間が十分に割れない部分についてじっくり学び、実践的なスキルを身につけられるようサポートします。

■時間・回数・期間： 平日の日中 10:00 から 16:00 の間で 2 時間、週 2 回程度 (予定)

- ・ 受講希望の方のご都合に合わせて調整したいと思いますので、お気軽にご相談ください。
- ・ 全体の回数や期間は現時点未定です。
- ・ 開講時期は 2023 年 8 月下旬を予定していますが、ご相談に応じます。

■場所： 東京学士学院 JR・メトロ綾瀬駅より徒歩 7 分（足立区綾瀬 5-14-20 綾瀬 ASビル）

■費用： 1000 円／回 各回、参加当日に現金にてお支払いください。

■講師： 多田 道夫（ただ みちお）

- ◇ 日本語学校「東京学士学院」主任教員
- ◇ 獨協大学外国語学部英語学科・杏林大学大学院日本語教育専攻修士
- ◇ 2003 年より日本語教育に従事。現在も教師として教壇に立ちながら、主任教員としてコース運営や教員指導にも携わる。

お問い合わせ： ☎ 03-5856-3001 ✉ tada@t-gakushi.com （多田）

📄 講座内容の紹介をご覧ください(裏面) 📄

講座内容の紹介

① 文法分析と指導法	「食べたほうがいいよ」の「～たほうがいい」は「助言の表現」と説明されるけど、「食べるといいよ」も「助言」では?? もう少し掘り下げて、その文法にはどんな機能があって、どんな状況で使われやすい表現なのか等、文法の意味用法を分析した上で、学習者への伝え方や効果的な練習について学びます。
② 漢字の指導	「漢字の授業」は、ともすると熟語などの意味の説明に重心が偏った「語彙の授業」になってしまいがちです。 もちろん漢字と語彙は切り離せない関係ですが、漢字の指導は学習者が「読める」「書ける」スキルを身につけるためのものです。そのために教師が心がけるべき指導のポイントを学びます。
③ 語彙の指導	言葉の意味は、どんな言語でもスマホ等ですぐに調べることができる時代です。そのような中、語彙授業での教師の役割は何なのか再確認が必要です。 「ときどき」と「たまに」の違いは回数の違い? 「私はマンガを夢中します」の誤用はなぜ起こった? など、語彙分析のトレーニングをしながら、授業での指導法を学びます。
④ 聴解・読解の指導法	初級段階の聴解や読解授業は、学習した文法やことばを一言一句聞き逃さず理解するような、文法や語彙の授業の延長線上で指導されることが多いです。 この講座では、必要な情報だけを探す、断片的な情報を統合して理解するといった「ストラテジー」が必要になる日本語能力試験等の試験対策としての読解や聴解授業の指導法について学びます。

◇ 1回の講座では①文法分析と、②～④のいずれかを組み合わせて実施します。

◇ 個別の質疑応答やご相談にも対応いたします。